

# ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



## 園児募集の公示にあたって

「附属幼稚園ってなぜあるんだろう？」なんて、これまで考えたことがありませんでした。しかし、経営母体である大分大学に「幼稚園教諭養成課程」が無くなった今は、こんな疑問を投げかけられたとしたら、答えに窮してしまうかもしれません。

目の前にいる小さな子どもたちが大人になる20～30年後は、私たちの想像を遙かに超えた世の中になっていると言います。私たち親世代の受けてきた教育では、その中で逞しく生きていく力を育てることは難しいというのです。

今、世界中で教育の内容や方法が見直されています。子どもたちにどんな力を育てればいいのか。特にアメリカのヘックマン教授らによって、幼児期に与えられた環境がその後の人生を大きく左右するというエビデンス（証拠）が示されたのは革命的なことでした。日本でも教育の中身を大きく変えようとしています。教育の起点を「幼児教育」とし、3つの現場（幼稚園・保育園・こども園）の教育（保育）の質を揃えようというのが今回の見直しの重要な柱の一つとなっているのです。

このような教育界の動向と照合した時、附属幼稚園は、これからの幼児教育の重要性を語るに足る実践的保育に既に取り組んでいることがわかります。今、幼児期から育てることを求められている「資質・能力」を、「遊びを通して」育む保育の姿勢は昔も今も一貫しているからです。今後は更に3つの現場をつなぐ「幼児教育の研究拠点」としての役割も積極的に果たしていきたいと考えています。

本園では、定員の関係上、毎年「入園選考」をします。平成30年度入園児の募集について、本日公示しました。附属幼稚園の役割をご理解頂いた上で、多くの方にお子さんの入園を御検討頂けますようお願い致します。来春満3歳4歳になる未就学のお子様がいるお知り合いの方にも是非お勧め下さい。詳細は、ホームページをご覧ください。

「チャレンジしよ！って自分で言ったやろ！」

こういう日がくることはわかっていた。子どもたちはよく言う。「先生もしてみて！」先生はできるん？」できればいいが、できないこともある。始業式の話を受け止めてくれたことは嬉しいが、反面、恐れていたのだ。子どもにも「園長先生もチャレンジせん」と言われることを。年長さんは、今フラフープにチャレンジしている。実は、私はけん玉はできる。フラフープは全くできない。今からチャレンジしたことがない。今からチャレンジしてもできない。さて、な気が全くないの。さで、どうしたものか？子どもの前でぐずぐず言っている。「チャレンジしよ！」と檄が飛んできた。覚悟していたとは言え、参った！



## トピックス・えとせとら



\*モルモットの赤ちゃんが誕生しました！3匹も。高年齢の初産でしたが、出産後の処理も自らこなし、授乳もばっちり見事な育児です。

\*今、教育実習生が来ています。皆真剣な眼差しで保育を観察したり、子どもたちと向き合っています。子どもたちもとても嬉しそうです。

